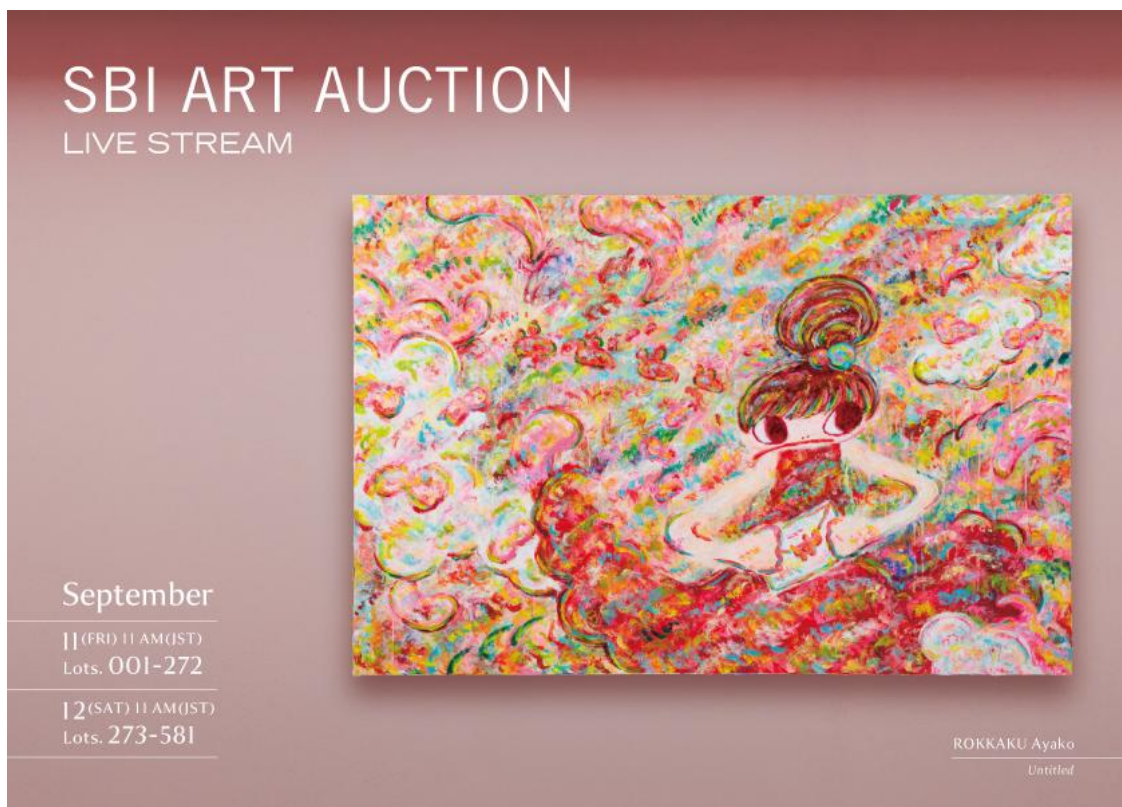


草間彌生、ロッカクアヤコ作品が登場
ヴォルフガング・ティルマンス、落札予想価格下限の約 **6.6** 倍を記録

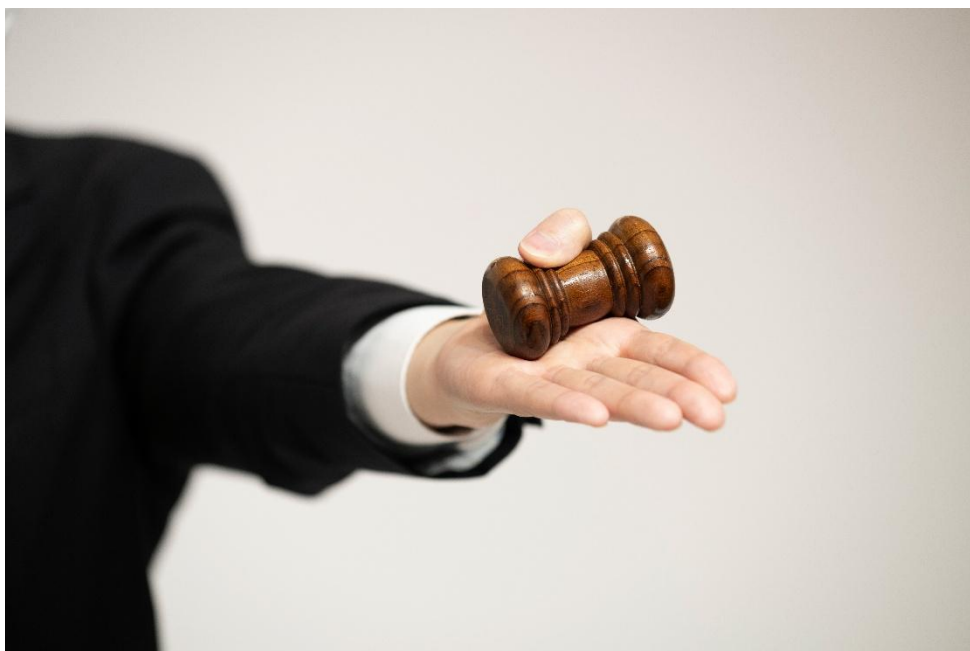


SBI アートオークション株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役：藤山友宏）は、2026年9月11日（金）・12日（土）に「第83回 SBI アートオークション | Live Stream Auction」を開催いたしました。

トップロット（セールの最高額を記録した作品）は、ロッカクアヤコのキャンヴァス作品で1,725万円（手数料込、以下同じ）を記録しました。本オークションでは写真作品も多数出品され、複数のロットで落札予想価格（エスティメート）を大きく上回る結果を記録しました。なかでも注目を集めたのは、ヴォルフガング・ティルマンスの3点セット《1. citrus still life I / 2. Tomatoes / 3. pear, passionfruit & lychee》で、エスティメート下限の約6.6倍となる264万5,000円で落札されました。

■ 「第83回 SBI アートオークション | Live Stream Auction」実施概要

- ・ 日時：2026年9月11日（金）・12日（土）11:00-
- ・ ロット数：575
- ・ 落札率：86.4%
- ・ 落札総額：1億7,022万3,000円



■オークショニアコメント

今回の **Live Stream Auction** では、ロッカクアヤコや草間彌生といった日本の現代美術を代表する作家への関心に加え、写真作品にも問合せ含め注目が集まったことが印象に残りました。なかでもヴォルフガング・ティルマンズの作品には複数の参加者が競り合い、今回のセールを特徴づける結果の一つとなりました。

トップロットとなったロッカクアヤコの《Untitled》は、両辺 1 メートルを超える大型のキャンヴァス作品です。7 月のメインセールでも大型キャンヴァス作品が活発な入札を集めました。今回も国内外から複数の電話入札が入り、1,725 万円で落札されました。また、草間彌生の《渚の夜》には、書面、電話、オンラインから入札が重なり、エスティメート上限を超える 747 万 5,000 円まで価格を伸ばしました。複数の入札経路から競り合いが生まれたことで、会場を設けない **Live Stream Auction** においても、国内外から幅広くご参加をいただいていることが改めて感じられました。

そして今回、特に目を引いたのが写真作品への反応です。ヴォルフガング・ティルマンズについては複数点セットの作品が 4 ロット出品され、なかでも《1. citrus still life 1/2. Tomatoes/3. pear, passionfruit & lychee》には、事前から多くの関心が寄せられました。書面入札によって早い段階でエスティメート上限を超えた後も、電話やオンラインから新たな参加者が加わり、最終的にはエスティメート下限の約 6.6 倍となる 264 万 5,000 円で落札されました。200 万円を超えてなお複数の入札が続いたことから、本作に対する関心の強さがうかがえます。

今回のセールでは、これまで安定した需要が見られる日本の現代美術に加え、写真作品にも強い反応がありました。作品のジャンルや価格帯を問わず入札が広がりつつあることは、今後のセール構成を考えるうえでも興味深い結果だったと感じています。



ロッカクアヤコ作品が複数登場、SNS でも高い関心

9 月オークションのトップロットとなったのはロッカクアヤコの《Untitled》でした。2021 年に制作された本作は、両辺 1 メートルを超える大型のキャンヴァス作品で、エスティメート 1,300 万円～2,300 万円に対し、1,725 万円を記録しました。

本セールでは、本作だけでなく、ダンボールに描かれた作品、作家の絵本・アニメーションプロジェクト「みんなのこと」の挿絵原画、オランダの伝統的な陶器メーカー「ロイヤル・デルフト (Royal Delft)」とのコラボレーション作品なども登場しました。これらの作品を展示した様子を紹介した Instagram の投稿には、オークション開催前から高い関心が寄せられました。

作家を代表する少女のモチーフが手紙を抱えたような、穏やかな印象を与える《Untitled》は、複数の電話が繋がった状態で開始されました。エスティメート下限をやや下回る 1,250 万円からスタートすると、国内と海外の電話同士による競り合いとなりました。終盤には、他者を抑える強い指値での入札により、1,725 万円で落札されました。

草間彌生の色紙作品《渚の夜》、両者譲らない緊張感ある競りを展開

本オークションでも、草間彌生の作品が複数出品されました。特に印象的な競りを見せたのは、1980 年に制作された色紙作品《渚の夜》でした。エスティメート 400 万円～700 万円に対し、747 万 5,000 円で落札されました。

フジテレビギャラリーの来歴を持つ本作は、国内から複数の電話が繋がった状態で、380 万円から競りを開始しました。書面、電話、オンラインによる競り合いで 500 万円に到達。その後は電話同士の一騎打ちとなり、両者譲らない展開が続きました。開始当初から強い入札を見せていた電話ビッドのお客様が競りを制し、747 万 5,000 円で落札されました。



ヴォルフガング・ティルマンズの写真作品への強い関心が顕著に 落札予想価格下限の約 6.6 倍で落札

9 月オークションでも多くの写真作品が出品されました。とりわけ高い関心を集めたのが、ヴォルフガング・ティルマンズの作品群でした。本セールでは、同作家による複数点セットの作品が 4 ロット出品され、各ロットで好成績を記録しました。

その中でも力強い競り合いを見せたのは、静物を題材としてフルーツを捉えた《1. citrus still life I / 2. Tomatoes / 3. pear, passionfruit & lychee》で、2000 年代初期に制作された作品群です。エスティメート 40 万円～70 万円に対し、下限の約 6.6 倍の 264 万 5,000 円で落札されました。

事前に多数の問い合わせもあり、複数の電話が繋がった状態で 38 万円からスタートしたオークションは、複数の書面入札による競り合いで一気にエスティメート上限を超え、75 万円に達しました。その後、電話やオンラインからも新たな参加者が加わり、あっという間に 100 万円を突破。なおも力強い入札が続き、電話から 150 万円の指値が入った後も、複数の電話とオンラインによる競り合いが続きました。200 万円の大台に乗ってから入札は途切れず、最終的に国内の電話参加者が 264 万 5,000 円で落札しました。



詩人・菅原敏氏と、アートを「言葉」で味わう「詠む下見会」を開催

9 月 3 日、SBI アートオークションのギャラリースペースにて、詩人・菅原敏氏を迎えた「詠む下見会 ― 作品から言葉を編む」を開催しました。本イベントは、9 月のオークション出品作品を、価格や美術史的な解説とは異なる視点から鑑賞し、作品から受け取った印象を自身の言葉で詩にする参加型の試みです。

当日は、堂本尚郎、井田幸昌、ロッカクアヤコ、ニック・ウォーカーらの作品を題材に、菅原氏による朗読と詩作のガイダンスを経て、参加者一人ひとりが作品と向き合い、一編の詩を制作しました。最後には希望者による朗読と菅原氏による講評も行われ、同じ作品から異なる記憶や情景、言葉が生まれる、作品鑑賞の新たな楽しみ方を共有する時間となりました。

参加者アンケートでは、総合満足度が 5 点満点中平均 4.4、「作品を見る視点が広がった」とする評価が平均 4.6 を記録。参加者からは、作品と深く向き合うことで「愛着が湧く」「作品が欲しくなる」といった声も寄せられました。SBI アートオークションでは、オークションを作品の売買の場としてだけでなく、アートとの新たな接点を生み出す機会として、今後もその楽しみ方を広げてまいります。



今後のイベント詳細



- 「第 84 回 SBI アートオークション | Modern and Contemporary Art」(予定)
 - ・ 日程：2026 年 10 月 24 日 (土)・25 日 (日)
 - ・ 出品受付締切：出品受付は締め切りました。
 - ・ 会場：ヒルサイドフォーラム (〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町 18-8 ヒルサイドテラス F 棟 1 階)

- SBI アートオークション株式会社
美術品のオークション、売買、売買仲介、ファイナンス、アドバイザーなど、お客様のニーズに応じ、国内外の幅広いネットワークを活用した多角的な事業を展開しています。各種サービスを通じて、より多くの方に美術品を所有する喜びや大切さ、面白さを伝えていくと同時に、美術品を永く大切に守り、次の代へつなぐお手伝いをしています。

会社名：SBI アートオークション株式会社
代表者：代表取締役 藤山友宏
所在地：東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館
設立：2011 年 4 月 1 日
[ホームページ](#)
[Instagram](#)

※当社ウェブサイトを装ったなりすましにご注意ください。